

独立行政法人情報通信研究機構

〇700/900MHz 帯それぞれでペア利用すべきとの提案に関する質問

〇700MHz 帯の電波の方が見通し外の通信に適しているとのことであるが、VHF 帯を利用することは問題があるのか。

(回答)

VHF 帯は UHF 帯に比べ波長が長いため、アンテナ等の機器のサイズが大きくなることは避けられません。これは小型軽量化を要求される車載通信機器として好ましくありません。

また、同一の使用帯域幅(例えば 10MHz 幅)を低い中心周波数(例えば 300MHz 以下)で使用する場合、比帯域が大きくなるため全帯域をカバーするアンテナは高利得化が難しく、またフィルタの設計も複雑化するなど、機器設計上好ましくありません。

〇その他

〇医療 ICT に対する需要は、世界的に共通しているのか。具体的に国際的な研究が進んでいるのか。

(回答)

遠隔医療や診断情報の電子化(電子カルテ等)を代表例とした医療の ICT 化は、欧米を中心として実用化が進みつつあり、次のターゲットは医療・ヘルスケア機器に対するワイヤレス技術の利活用に大きくシフトしています。新旧含め、Healthy Aims (EU フレームワーク 6)、Mobihealth Project (欧州 IST) や Personal Health Systems Project (FP7)、大規模コンソシアムでは Continua Health Alliance、IMEC 等で検討がなされており、IEEE802.15.TG6 では医療 ICT のための無線技術の標準化が進行中です。医療 ICT の需要は、先進国や国土の広大な国を中心として世界的に高まっています。